

H17年2月22日

平塚市における土壌からのモノフェニルアルソン酸(PAA)の検出について

1. 第二次環境調査の土壌調査の結果

平塚における第二次環境調査の土壌調査(H16年12月実施、平塚17ヵ所)で、対象範囲内の北部で採取した混合試料(7地点の混合)の1つから、PAAが0.004mg-As/L検出されました。混合前の7地点における試料について分析したところ、3地点からPAAが0.014mg-As/L、0.005mg-As/L、0.003mg-As/L検出されました(別添参照)。

2. 今後の対応

(1) 現場での対応

当面、PAAが0.014mg-As/L検出された範囲の立入禁止措置を講ずるよう、土地所有者に依頼する。

(2) 今後の調査

0.014mg-As/L検出された範囲(10mx10m)を4分割した範囲(5mx5m)の混合試料(2.5mx2.5mごとに試料を1点採取し、4点を混合)を分析し、高い濃度が検出されれば、混合する前の2.5mx2.5mごとの試料を分析する。この結果をみて、さらに調査が必要か判断する。

(3) 発見事例の聞き取り調査

今回のPAA発見ヵ所付近で、昭和42年、工事中に作業員のくしゃみがひどく、その原因と考えられる中身不明のドラム缶が発見された履歴があるので、再度、処理等についての詳細な聞き取り調査をし、必要に応じ土壌調査等を実施する。